

ニュースポーツ教室

主催：堅粕公民館

◇ アジャタ体験会

日 時：2月16日（日）9：30集合

会 場：堅粕小学校 体育館

チーム編成：・校区内に住む大人・子ども（小学生以上）
・1チームは男女混合（大人・子ども混合可）
4～6名＋控えの計8名以内



※参加希望の方は、町内会長か町内体育委員
までお申し込みください。

自治協・各種団体から

共催：男女協同参画協議会・衛生連合会

◇ 男女協・衛連 委員1日バス研修

日 時：2月12日（水）9：00集合

行 先：シャボン玉石けん工場見学（北九州市若松区）

※ お問い合わせは、所属の各団体までお願いします。

共催：ごみ減量リサイクル推進会・高齢者の会

◇ ごみ減・高齢者の会1日バス研修

日 時：2月19日（水） 9：00出発

行 先：北九州エコタウン（北九州市若松区）

※ お問い合わせは、所属の各団体までお願いします。



主催：防犯・自主防災委員会

◇ 防災センター見学 VR体験（風水害）

日 時：2月22日（土）体験時間10：30～11：50

見学先：福岡市防災センター（早良区百道浜）

集 合：堅粕公民館前9：00

※ 町内会長を通じてお申し込みください。
3月のVR 体験は地震の体験を予定しています。

主催：自治協議会

◇ 町内対抗カラオケ大会

日 時：2月22日（土） 13：00～16：00

会 場：カラオケ館 博多駅前店

※ 実施要項と参加申込書は、自治協定例会で町内会長
に配布しています。

主催：衛生連合会

◇ 歩こう会

日 時：2月26日（水）10：00公民館集合

行 先：山王公園他

出演団体募集

◇ 第64回博多どんたく港まつり「博多区演舞台」 出演団体募集のご案内

5月3日（土祝）・4日（日祝）開催の第64回博多どんたく
港まつりの「博多区演舞台」に出演いただける団体を募集し
ます。

○ 募集内容：ダンス、楽器演奏、歌、踊りなど

○ 出演時間：1 団体1 0分以内

○ 申 込 み：博多区ホームページの申し込みフォームから申
請するか、区役所や公民館等にある申込書を事務局まで提出
してください。

※ 「申込書」は、博多区ホームページからもダウンロードで
きます。

※ 応募多数の場合は、選考により出演団体を決定します。

○ 申込期限：令和7年2月28日（金）17時必着

○ 申込み・問い合わせ先：
まつりはかた実行委員会 事務局（区企画振興課）
電話 419-1043 FAX 434-0053

みんなの学び場 ふくおかの環境学習施設

環境学習施設が大集合！人気の体験イベント施設の見ど
ころ・魅力をお伝えします。

日 時 2月22日（土）14：00～16：00

場 所 まもろ一む福岡

対 象 どなたでも、無料 先着40名（要申込）

申込先 電話 092-831-0669
メール mamoroom@fch.chuo.fukuoka.jp



公民館からのお知らせ

◇ 臨時休館について … 2月23日（日）

見守り新鮮情報

実在する事業者を名乗り、身に覚えのない未納料金を請求される
電話があっても、言われるまま支払ってはいけません。
知らない番号や非通知からの電話は「出ない」「話を聞かない」「かけ
直さない」ようにしましょう。

● コンビニ等で電子マネーを購入するように指示し、番号を教えさ
せる方法はすべて詐欺です。

● 不明な点がある場合は、実在する事業者の正式な問い合わせ窓
口を家族や周りの人とともに調べて、問い合わせてください。

● 心配なときは、お住まいの自治体の消費生活センターや最寄り
の警察等にご相談ください。
（消費者ホットライン188、警察相談専用電話「＃9110」番）



館長のつぶやき

～ 人生の最大の娯楽 ～

先日、シンガーソングライターの小椋佳さんのコンサート
へ行きました。小椋さんは昭和46年にデビューされましたが、
当時は大手銀行員との二足のわらじ、今でいう二
刀流として活躍されてました。

齢（よわい）81歳となられ、歌は少々衰えを隠せない
ものの、話し方はよどみなく、柔らかな語り口で、ユーモ
アたっぷりの内容でした。

そのお話の中で、すっかり衰えてしまった自分ですが、
「ゆっくり、単純に、安定、賢く」というのを行動の信条
にして、老いを受け入れ、慌てることなく地に足をつけ、
複雑なことはいらない、そして賢く着実にという、なんて
素敵な生き方だと感心し、もう一つのお話が、人生の最大
の娯楽は勉強（学ぶこと）だと。現在、哲学の学び直しや
個人レッスンでのフランス語、ピアノを学んでおられると
いうことです。

もともと彼は東京大学卒業のエリートだ、というやっか
みはさておき、程度の差こそあれ、生涯学び続ける姿勢、
また、それを「娯楽」と捉えることが楽しく続ける秘訣だ
と理解しました。

その一方で、公民館講座の参加者を増やすために、生涯
学習を娯楽に変えればいいんだ！という安直な発想が思い
浮かびましたが、いやそれは違うだろうと、もう一人の自分
に戒められることとなりました。